

事業計画書

事業名	ゆいの花音楽会
団体名	松戸ウインドアンサンブル

★貴団体が申請する事業についてお伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

- ・核家族化が進み、町内会での個々の役割が薄れ、ご近所付き合いが希薄となっている現在、高齢者の孤独死や子供への虐待など個人の「孤独」や「無縁社会」に対しての問題が増加している。
- ・行政や自治体は問題を抱えている個人や家族に対しての援助を行っているが、個人・家族と地域の人々とのつながりを結んでいくことは難しいのではないだろうか。
- ・しかしながら、個人や一団体が出来ることはかなり小さく限局されてしまい、また効果の評価についても難しい。
- ・ショッピングモールや市の行事・老人ホームなどで演奏活動をしていくなかでそこで出会った仲間と一緒に地域の結びつきが薄い新興住宅地と地域を限定し、また孤独やひきこもりに悩む人へ広く広報活動を行い、演奏活動や音楽にふれあう講座などの開催で地域の活性化（ふれあい）や孤独やひきこもりに悩む人たちへのつながりに役立つ事は可能ではないだろうか。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

- ・音楽を共に一緒に奏でることや、奏でた音楽を聴いたり歌ったりすることで、その場にいる人々がつながりを感じられ、身近な音楽を主体に、「無縁社会」を「人と人のつながりがある社会」に近づけたいと考えている。
- ・また手作り楽器の作成講座やブランクの長い方などには楽器を体験出来る講座。日々の合奏練習の場の提供など。さまざまな活動を通じ人と人とがふれあうことで、より深化した人間関係が構築できると考える。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

① 音楽ができる場の提供「松戸ウインドアンサンブル」を基盤に、初心者やブランクがある方でも演奏技術のレベルに関係なく、音楽を共に楽しみたい方に月に1回、合奏が出来る場の提供をします。

② 演奏会の開催

※観客の方も共に演奏会を楽しめるような「ゆいの花音楽会」を地域の公園にて年二回開催する。

- ・「松戸ウインドアンサンブル」に集まる楽団員が一緒に演奏する。
- ・楽器経験者で楽器を持って来て頂いた方には楽譜を配布する。
- ・演奏している曲の歌詞カードを観客に配布して、可能なら歌ってもらう。
- ・ブランクの長い楽器経験者で楽器を持っていない方に所有の楽器がある場合ふれて頂けるような講座を開催します。（指導・講師は松戸ウインドアンサンブルの団員がします。）

③ 楽器作りの講座

※楽器経験者ではない方でも参加出来るように手作りの楽器などを作成していただき簡単にわかりやすいリズムと一緒に演奏会に加わってもらいひとつの音楽を共同で作ることの喜びを伝えたい。

・想定されるスケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
4月～6月	広報活動(年間を通して実施) ゆいの花音楽会 春フェスタ 楽器作りの講座 合奏練習の実施	場所：ゆいの花公園（要請） 対象者：参加者全員 場所：青少年会館 対象者：参加希望者
7月～9月	合奏練習の実施	場所：青少年会館 対象者：参加希望者
10月～12月	ゆいの花音楽会 秋フェスタ 楽器作りの講座 合奏練習の実施	場所：ゆい花公園（要請） 対象者：参加者全員 場所：青少年会館 対象者：参加希望者
1月～3月	合奏練習の実施	場所：青少年会館 対象者：参加希望者

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください。

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

ゆいの花音楽会の開催実施

1回の演奏会(すべての講座を含め)で参加者およそ100名×年2回=200名に提供する。

毎月の合奏が出来る場の提供は 5名×年12回=60名に提供する。

・ゆいの花音楽会への参加登録者を募集しアンケート調査や参加者の意見などを集約し次期演奏会に反映していく。また登録者には手紙の配布や開催のお知らせを伝えることで継続あるつながりの場を提供できるようにする。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

参加者の意見や要望を演奏会に反映して、さらに多くの方々に演奏会に興味を持って参加してもらえるように努力していく。

さらに参加者が集まって、そこから派生した団体が新たな地域活動を起こすときには、松戸市との調整を行いバックアップしていく。

このイベントで参加した方々と一緒にさまざまな演奏会活動をし(ショッピングモールや市の行事・幼稚園・老人ホーム)地域の活性とつながりあるネットワーク作りへと発展させていきたい。

松戸市を地域コミュニティの為の一つの手段である音楽(吹奏楽)が、日本一の盛んな町にしたい。

以 上

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金 額	積算内訳
	20000 円	20.000 円	寄付
	自己資金合計 (a)	20.000 円	✓
市	助成金申請額 (b)	50.000 円	✓
	収入合計 (c) (a+b)	70.000 円	✓

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

	項 目	金 額	積 算 内 訳
	楽譜・印刷費	32.000 円	✓ 楽譜8曲×4.000 円
交付対象経費	コピー代	10.000 円	✓ 1.000 枚×10 円
	雑費 (手作り楽器作り)	10.000 円	✓ マラカス 作り 10 個 @50 円×200 個
	会場費 (合同合奏練習場所)	6.000 円	✓ @500 円×12 回
	通信費 (切手・手紙)	2.000 円	✓ 50 円×40 枚
	対象となる経費合計額 (d)	60.000 円	✓
その他	雑費 (シャボン玉材料等)	10.000 円	
	その他経費合計額 (e)	10.000 円	
	事業費 (f) (d+e)	70.000 円	✓

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。